



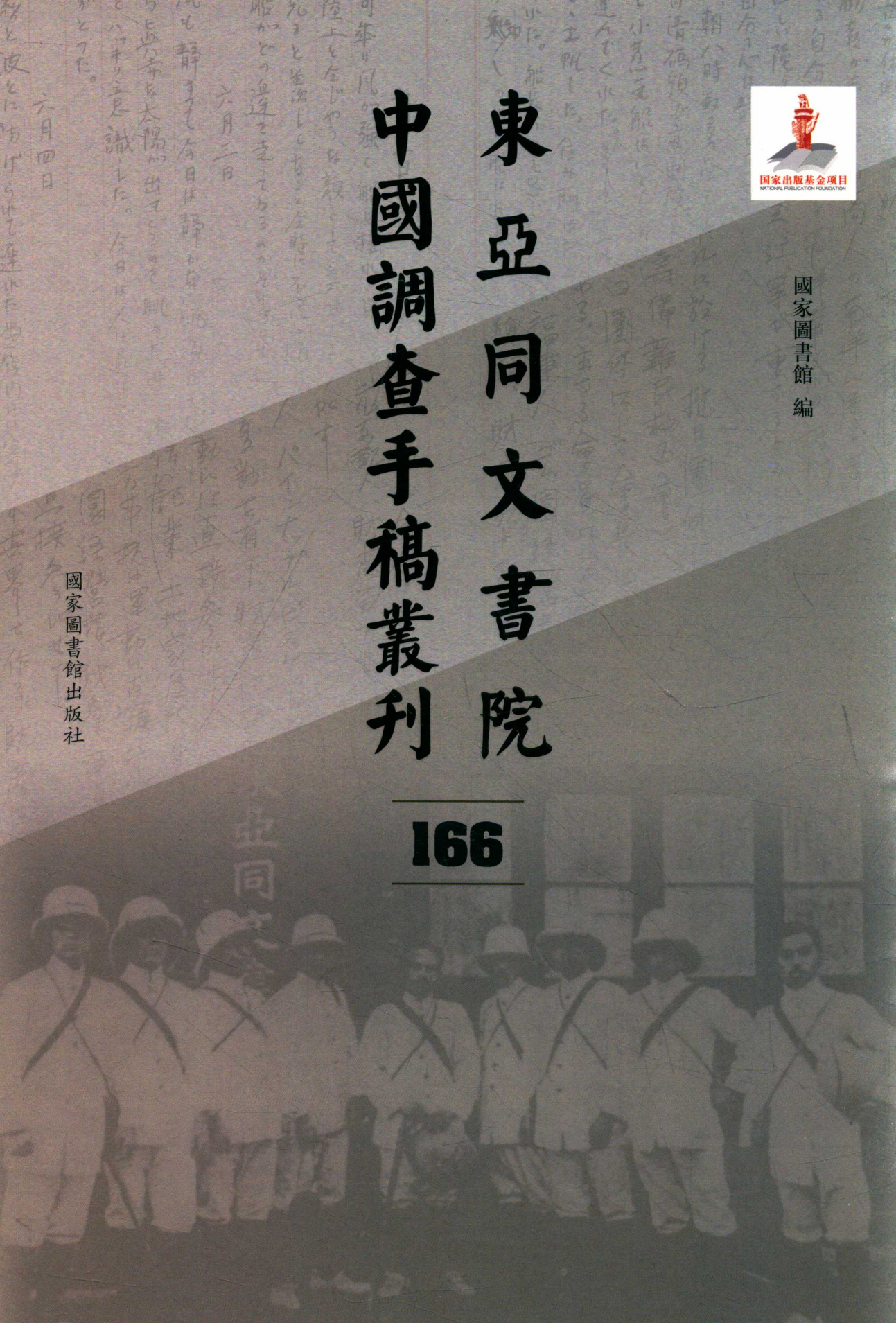
國家圖書館編

東亞同文書院

中國調查手稿叢刊

166

國家圖書館出版社





國家出版基金項目
NATIONAL PUBLICATION FOUNDATION

國家圖書館編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

166

國家圖書館出版社

第一六六冊目錄

昭和十四年（一九三九）調查報告（第三十六期生）

皮革に就ソテ

關於皮革 野田久太郎

..... 一

漢口市場ニオケル豚毛

漢口市場上の豬鬃 市村克孝

..... 五九

武漢地方に於ける外人宣教師の活動狀況

武漢地區外國傳教士的活動狀況 古賀六郎

..... 一六一

中支に於ける支那人の對日感情特に武漢を中心として

華中中國人的對日感情——特以武漢爲中心 光岡義男

..... 二六五

漢口市場を中心とする漆の調査報告	
以漢口市場爲中心的漆類調査報告	江淵薰
湖南省岳陽地方貨幣金融狀況調査	
湖南省岳陽地區的貨幣金融狀況調査	松尾勇夫
岳陽城人口調査報告	
岳陽城人口調査報告	山本尚長
廣州市教育狀況	
廣州市教育狀況	今西照男
廣州市に於ける第三□權益の特異性	
廣州市的第三□權益の特異性	大坪正十三

三四七

三九一

四一三

四七五

五三一

和十四年度

大旅行報告書

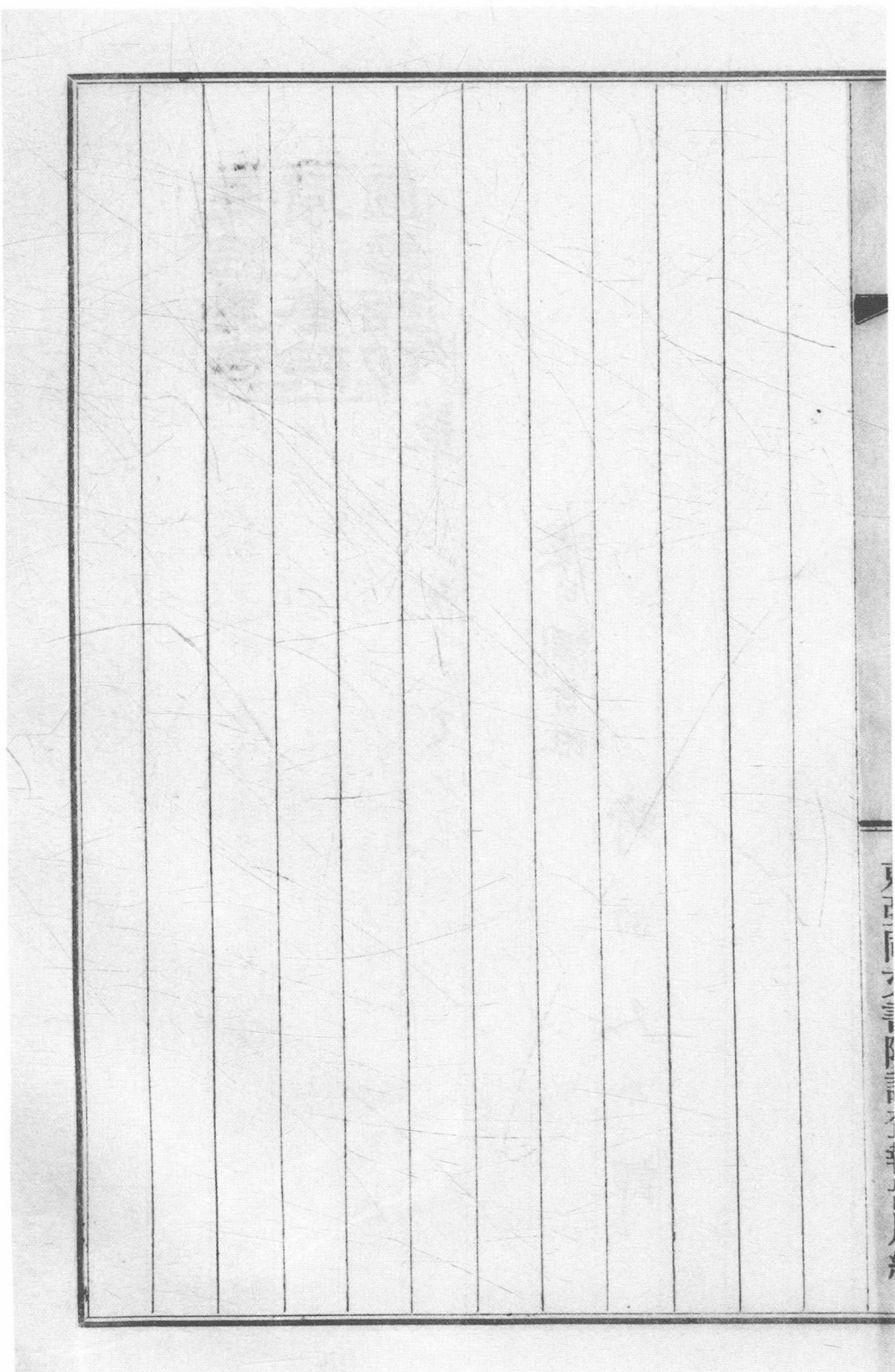
野田久太郎



革
に就いて

漢口調香班

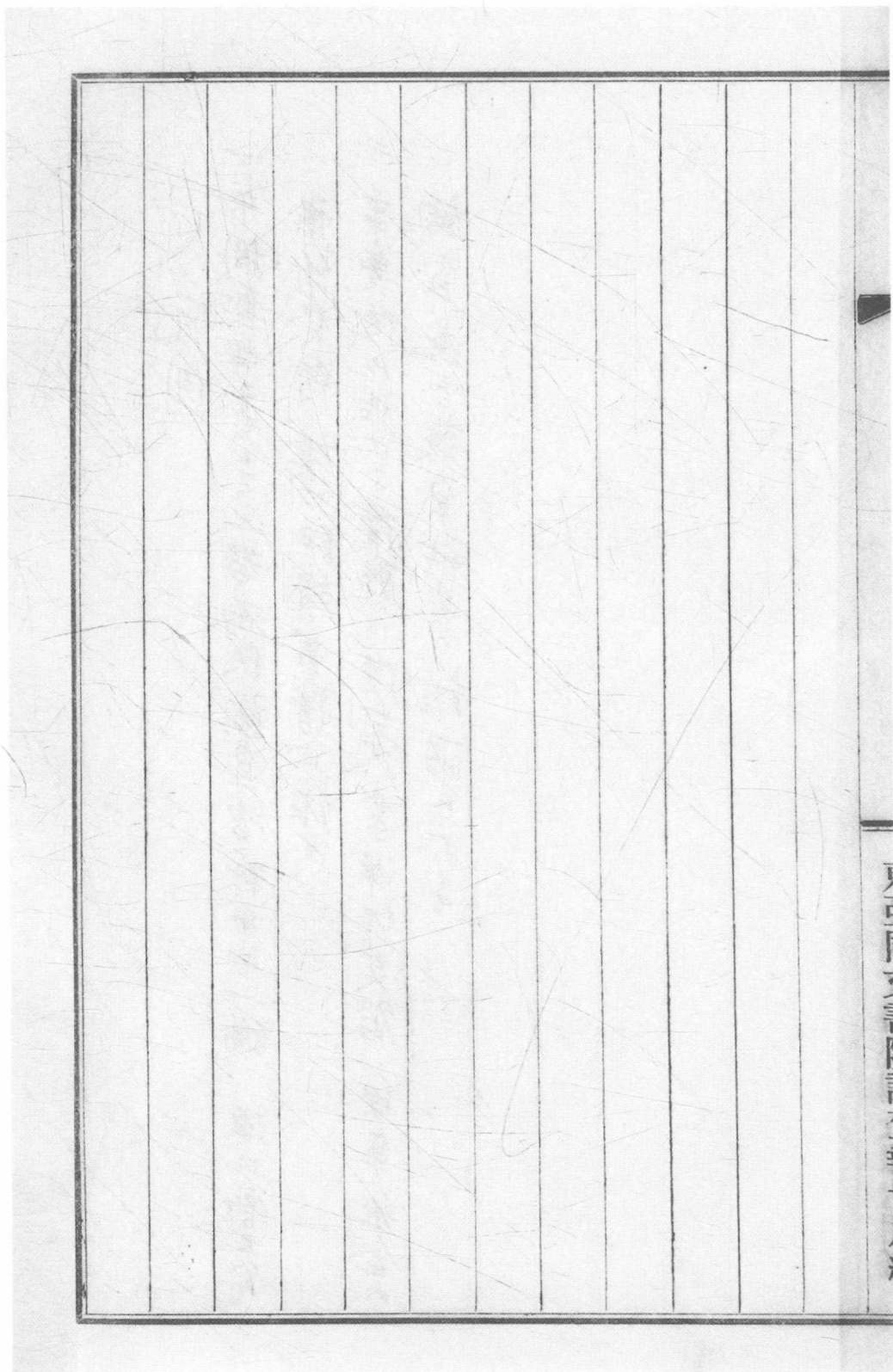
野田久太郎



凡例

一、本調査は主として上海滿鉄調査資料を主編、漢口商工会議所発行漢口經濟事情に依る。

二、事変後に於ける情態は漢口大倉洋行支店、皮革組合の調査並に該会社員の談話による。



皮革

一 概況

支那に於ける生皮の輸出は實に七十年の歴史を持つ。海關統計に始りて生皮輸出が記録されたのは一八七〇年であるが、主としてシンガポールに向へられたがそれは同地が生皮の加工原料たる樹皮の産が多かつたため、此處で加工されたる製品は大部分再び支那に輸入されたのだ。一八七七年の露土戦争後軍需品としての需要増加した一方偶々北支方面の饑飢が耕牛の屠殺を余儀なくせしむ。天津より輸出増加し、更に一八八三年には漢口よりも輸出がはじまつた。この頃の輸出の大部分は独逸兩國に向へられた。かくして歐洲大戦當時には生皮輸出の黄金時代を形成したのである。而るに其の後世界不況と國內に於ける需要増加に伴ひ、一九三三年水牛皮を合して二十九万四千担で一九三八年は實に三八・七万担水牛皮合して四十五万担に

達した。是れを絶頂として急激なる減少の一路を踏み、一九三三年には十万余担となり、事変前猶十五万担前後に過ぎないが、其の原因として①主要産地たる河南湖北江西の各省に於ける戦乱、共匪被害、②歐洲の経済界不況、③近年国内に於ける皮革製業の需要増加により製革業（主として土法）の発達が挙げらる。一九三七年以降の水牛皮黄皮の輸出額を示せば左の如し。

年次	水牛皮	黄牛皮	合計
一九二七年	二、一六五兩	七、九七一兩	一〇、一三六兩
一九二八年	一、八八五兩	六、〇七七兩	一、九六二兩
一九二九年	一、七三四兩	一〇、五九兩	一二、二五三兩
一九三〇年	一、二二六兩	七、二七四兩	八、五〇〇兩
一九三一年	一、四五〇兩	四、五八兩	五、九六八兩

一九三二年	一、〇〇五元	一、六七五元	二、八八〇元
一九三三年	一、七七三元	四、三九元	五、七二元
一九三四年	一、五九四元	三、九八一元	五、五七五元
一九三五年	一、五七一元	三、一三三元	四、六九四元
一九三六年	二、五〇〇元	八、〇〇六元	一〇、五〇六元
一九三七年	三、三五八元	九、二四四元	一三、六五二元
一九三八年	一、三八〇元	二、八八六元	四、二六六元

支那の生皮輸出港としては上海・天津・青島・漢口の四港が主要なものであるが、次表の示す如く上海の占める地位は圧倒的である。

最近四年中全支生皮輸出港別價格表(單位元)

港別	一九三四年	一九三五年	一九三六年	一九三七年	四年平均比率
上海	八四、七九五	六四、〇六〇	三七、六七八	五七、九七七	〇、六六
天津	一、三八、九三三	一、〇一、二八八	一、八〇、〇五七	三、一五、五五一	〇、一一
漢口	四、〇七八	三五、八八九	四九、七三三	一九、〇七三	〇、〇二
青島	八、三四三七	六八、六三三	一、三九、三三七	九四、五八一	〇、〇六
其他	一、三五、五九一	一、四三、五五四	二、六四、八五四	四、〇三、三四五	〇、一五
合計	三一、八四、八三三	九六、五、八五四	一、九〇、六、六九七	五、〇五、五七七	一、〇〇

最近五年由支那仕向国別牛皮輸出額表(單位担)

年次	国別
一九三一年	日本
一九三二年	四九、八六九
一九三三年	三九、二二四
一九三四年	五七、〇二六
一九三五年	三四、五一二
	二八、四六三

香港	三、二二二	六、三一七	一、三三〇	七、八九三	八、八九三	
安南	一、二二〇	—	三〇三	一四三	四	
土耳古	七八〇	三二	—	—	—	
英国	三、三二七	一五六	二四九〇	九四	二六〇	
瑞典	一、三三八	—	—	—	—	
独逸	九、六三九	三、七八八	百、〇八六	六、〇三五	三、六二二	
佛国	三、四四二	九八	三九一	四三七	—	
西班牙	一、七七四	二二五	九三	—	—	
伊太利	一、二七三九	六、四七五	七、八三九	一、五九五	五、八六	
口シヤ	—	—	—	—	—	
米因	一、二五	—	三、四一六	—	—	
白耳義	一、七六	—	—	—	—	

東京市立図書館蔵書目録

その他

三九六ニ

三八九

一〇一ニ

九二六

一六七ニ

二、牛皮の種類、用途及び產地

牛皮は其の標準に依り次の如く種々に分類する事が出来る。

一、產地別による分類

省名又は集散地名或は產地名にこの名を呼び、假令は河南物、蚌埠物、重慶物と云ふが如し。

二、製造の種類に依る分類

ハ、鮮皮（生皮）剥皮せる牛の肉をも品質最良。

ロ、干皮 天日乾燥せるもの。

ハ、鹽皮 鹽漬のもの。

ニ、鹽干皮 塩をして乾燥せるもの。

亦薄塩干皮 干皮と大差なし。

三 干皮、手入れの如何による分類。

ハ 薄塩（改良原皮） 完全に乾燥し、角尾骨、耳、唇肉を
除きたるもの。

只毛貨（山上し） 田舎より出廻りたるものと云ふ。

ハ毛 薄塩 充分乾燥したるものなるも、角尾骨、

耳、唇肉、附帶せるもの。

四 大小に依る分類。

大 三〇封度（ニ斤半）以上

中 二〇―三〇封度

小 一五―二〇封度

小半 一五封度以下